

こんにちは！4月に入り、日本の学校では新しい生活が始まったばかりですが、アメリカでは Term 4 が始まり、学年最後の Term で勉強に励んでいます。3月は書きたい行事がたくさんあったので、今回の報告書ではそのうち2つについて、簡単に書いていきたいと思います。

まずは、春休みにホストファミリーと旅行に行ったラスベガスについてです。寒いウィスコンシン州から比べて、ラスベガスでは半袖で過ごせるので、改めてアメリカの広さと気候の違いを感じました。さて、ラスベガスといえばストリップという大通りなのですが、そこではベネチア、パリ、ニューヨークなど世界中の有名な都市をモチーフにしたホテルが連なっています。世界中の有名な都市を一気に旅できているような感覚だったし、でもどのホテルにももれなくカジノがあって（笑）、不思議で、本当にわくわくする場所でした。「眠らない都市」と呼ばれているように、夜中になってもライトがキラキラ光っていて深夜3時なのに昼の3時と錯覚するようでした。アメリカにこれまで8ヶ月滞在してきましたが、また新しいことに触れられて経験できたことがとてもうれしかったです。そしてもっと色々な場所を自分で見に行きたいと思うようになりました。

3月にはイースター（復活祭）というキリスト教やユダヤ教に由来する行事もありました。イースターは「毎年3月21日以降の最初の満月の次の日曜日」に祝われ、毎年日付が変わります。どういうこと？ってなる人も多いと思いますが（私もその一人でした）、この日はイエス・キリストが死から復活した日とされています。よってキリスト教の重要な日で、キリスト教徒でなくてもアメリカでは家族や友人と集まってお祝いします。卵に色を付けたり、家中に隠されたたまご型のカプセルに入ったお菓子を探し回ったり、お菓子やプレゼントの入ったバスケットを見つけたり、色々なことをして日曜日を過ごしました。たまごは諸説ありますが、たまごから命が生まれることより、キリストの復活を示しているそうです。イースターは聞いたことはあったのですが、実際に経験してみるとたまご探しとかとても楽しくて、参加できて嬉しかったです。

また新たな文化をここで体験しながら春を過ごして気づいたのは、私は日本の春がすごく好きだということです。ここでは3月でも一瞬雪が降るくらいで、日本の暖かい春や桜が恋しくなります。日本を離れてから色々なものが恋しくなるように、アメリカでの経験も帰ってからはその貴重さを改めて実感するのだらうと思います。またしっかりと留学ができていることに感謝をし、残りの期間もできる限りやりたいことをやって、後悔を少しでも少なくし思いっきり楽しみたいです。